



やくやく 薬躍 みやこ通信



今月のテーマ



医薬品の供給について

ニュース、新聞等で見聞きしたことがあるでしょうか？

最近、薬局で「薬の在庫がありません、注文しても入ってこないの、成分は同じですがいつものお薬と色や形・外観・メーカーが違うものに変更させていただきます」「いつものお薬の入荷が難しいので、医師と相談したうえで同じ効果を示すお薬に変更させていただきます」と、薬剤師から説明を受けた事はありませんか？
 いったい医薬品の供給についてどのようなことが起きているのでしょうか？



特別に医師の指示がない限り

先発医薬品 か **後発医薬品** を患者様が選択できます

<p>先発医薬品</p>	<p>新薬として最初に承認されたもの:開発に莫大な開発費と年月がかかり薬価(薬の値段)が高い</p>
<p>後発医薬品</p>	<p>先発医薬品の特許期間(原則20年~25年)が切れ開発費が不要で安価に提供できる医薬品(ジェネリック)。 先発医薬品と成分が一緒で効能効果がほとんど一緒</p>

日本の医薬品供給が滞る流れ

- 1 国は患者様の窓口負担を減らし医療費を抑制するため、先発医薬品よりも安価な後発医薬品の利用を促進している
- ↓
- 2 後発医薬品メーカーは、急速な生産拡大に対応できず、国の基準に適合しない医薬品が一部流通したことが発覚
- ↓
- 3 複数のメーカーで業務停止、自主回収、出荷停止、出荷調整
 後発医薬品の供給量が減少
- ↓

4 他社メーカーも急な増産に対応できない



薬局や医療機関への後発医薬品の供給不足は現在も続いています。令和5年7月末で後発医薬品の約3割の品目で入手困難です。

出荷調整がかかると、同じ成分の他社の医薬品に注文が集中します。注文を受けた他社メーカー側の生産力が追い付かなくなります。

↓
供給不足

5 結果、先発医薬品の需要が急増、先発医薬品も入手困難になる (入荷できる医薬品に注文が殺到する)



いつも飲みなれたメーカーの薬がなく、別のメーカーの代替薬に切り替えなければならない場合があります。後発医薬品が供給できない場合は先発医薬品を使用しなければならない場合があります。その場合は患者様の自己負担が増える可能性もあります。また、後発医薬品、先発医薬品ともに供給できない場合は、処方元の先生と相談して医療が滞らないように努めています。

供給不足

医薬品供給不足の理由は他にもあります。新型コロナの影響と海外の情勢です。海外から医薬品の原薬が入りにくい状況。コロナ患者様への処方咳、痰、解熱鎮痛薬の処方が沢山出ることにより、需要に供給が追い付かない。

このように一部の薬が滞っているのが現状です。患者様にはご不便をおかけしていますが医療自体が滞らないように日々、みやこ薬局として医師とも相談しながら懸命に努めています。併せて患者様の健康と世界情勢の回復を切に願います。

お薬や介護、食事(栄養)についてわからないことや、気がかりなことがありましたら、お気軽にお尋ねください。

担当 みやこ薬局 紫竹店

各店舗のイベント情報や、お得な情報など配信いたします。お友だち追加・フォローよろしくお願いいたします！



管理栄養士のInstagram



みやこ薬局

本店・北山店・山科店・薬大前店・紫竹店
マツヤスーパー店・大宮店・桂店・北花山店

<https://www.miyako-ph.co.jp>

